

平成29年度

日野高等学校 学校評価

本年度の重点目標

①生徒一人ひとりの進路希望に応じた学力の伸長 ②系統的な進路指導の充実と進路希望の実現  
③豊かな人間性と社会性の育成 ④自主活動の活性化

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	総合学科に係る系列の委員会により、全職員が教育改革を推進している。			
	教育活動の各領域において、学校評価をもとに活動の改善を図っている。			
2 学習指導	授業規律を確立し、学習意欲の喚起と基礎学力の定着に努めている。			
	総合学科にふさわしい授業の改善・創造に取り組んでいる。			
3 生徒指導	規範意識の高揚と基本的な生活習慣を身につけさせている。			
	問題行動の早期発見と防止に努めている。			
4 進路指導	悩みごとやいじめ等の早期発見と防止に努めている。			
	生き方・在り方を考えさせ、早期からの系統的な進路指導を行っている。			
5 特別活動等	進学補習の強化や求人開拓により、生徒の希望進路の実現に努めている。			
	生徒の実態や学年段階に応じたLHRや学校行事を適切に行っている。			
6 学校図書館	生徒会活動・部活動への積極的な参加を促している。			
	地域ボランティア活動への積極的な参加を促している。			
7 保健・安全指導	授業における図書館利用の促進と読書指導を強化している。			
	図書館・情報センターとしての機能を充実させている。			
8 人権教育	生徒の健康管理と病気の予防に努め、怪我・病気等への対応を適切に行っている。			
	特別支援教育体制の推進に努力している。			
9 環境教育	差別等のない、明るく、生き生きとした学校づくりに努めている。			
	LHR、産業社会と人間、総合的な学習の時間等を有効に活用し、人権学習を行っている。			
10 事務・管理	日々の清掃活動・除草作業を通して環境学習を行っている。			
	ゴミの減量化や省エネに努めている。			
11 その他 学校の取組み	施設・設備の点検・整備を日常的に行っている。			
	文書管理を適切に行っている。			
	広報活動を充実させ、地域の中学校との交流に努めている。			
	高大連携事業等を通じ、学ぶことの意欲と進路意識の高揚を図っている。			

(注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。